
fragile
Ren Ai MangaKa Presents
TUKIHIME Hisui & Kohaku FAN BOOK.
For Adult


fragile

# fragile



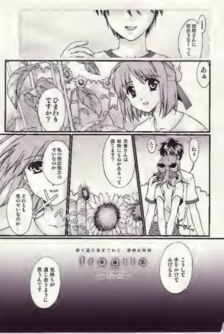
■琥珀漫画茅三弾です。
表紙は歌月十夜収録の「タナトスの花」をイメージして描いてみました。
思ったよりえろえろムードに……やはりポイントは琥珀さんの黒おぱんつでしょうか。

着物は下■ナシでしょ！？というツッコミが入りそうな気がするんですが、まあ、その辺は━

■某氏が「黒ガーターがいい～！翡翠とお揃いで～」と寝言をブツブツ言ってたんですが、さすがに着物にガーターストッキングは突っ走り過ぎた感があったので止めときました。
ガーターが良かったですかね？
一応、扉は黒ガーターにしてみましたけれど。

個人的にはパンストも捨てがたいのですが。

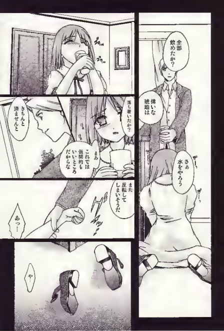
■ではでは、本編をお楽しみください。
━━え？表紙と内容がかみ合ってません？
あー、その辺のツッコミはナシの方向で━━ (L.8 ワカ)


琥珀さんに似合うなーって
あぁ
ひまわりですか?
ねぇ
ん?
志貴さんは植物にも心があるって信じます?
私の感応能力のせいなのか
それとも気のせいなのか
こうして手をかけてあげると
気持ちが通じ合うように思うんです
fragile


自分の気持ち
自分の心
自分を「殺して」しまった時から
……!!
まき…ひさ さま…
いつもの まきひささま じゃない…
目が… 赤い…
こわい
こわい こわい——!

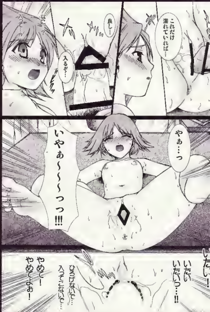

ちっ
意識が保てん――
きゃ……
噛むなよ
大きく口を開いてればいい
ぐっ…
うっ
うくっ…


出すからな・・
全部飲むんだ
こぼすな・
出す…？
なにを…？
う…
ん…ぐっ…
へんな味…


全部飲めたか？
偉いな琥珀は
さぁ水をやろう
ざーっ
ざーっ
落ち着いたか？
きちんと済ませんと
まあこれでは仮契約もいいところだからな
また反転してしまいそうだ
あっ…
や…


しばらくは意識が保てる
…まあ
なるべく痛くないようにはしてやるさ
まだ早いか…
しかし時間も無いからな——…
ピクッ
や…
やだっ……


なんだか…へん…
きもちわる…い…
直に慣れるそういうものだ
もう…やめ…
なんか…へん…
まきび…さま…
まだ効かんか？
先程の水に薬を充分に入れておいたのだが…
くすり…？
ああ
いい気持ちになれる薬だ
ボーッ


これだけ濡れていれば…
良し…
入るぞ…
なに？
入って…ッ
やぁ…っ
いやぁ～～～っっ!!!
いたい!
いたい いたいっ…!!
ひろげないで… 入ってこないで…
やめて! やめてよぉ!


ぐうっ…かなりきついが…
大分濡れてきたな…段々と動きやすくなるさ
うあぁっ…
あぁぁぁ～～っ！
何を言ってる
まだまだこれからだ
ひぁっ！
だめぇ・おなかが…やぶれちゃうっ！
かはっ…
いやぁ・もう…やめて…


うおっ！
受け止めろ 琥珀！
やだぁ～っ!!!
いやぁ…
…うむ
やはり 感応能力者を 引き取ったのは 正解だったな
さて・お前にはもう少し 付き合ってもらうぞ
こっちでする方が お前も楽だろう
また…するの…？
こんなに・いたいのに… もういやなのに…
でも…


少し楽になったな
中に出した精液で滑りが良くなった
うあっ…
おっきいのうごいてる
グイッ
そろそろ本格的に動くぞ
たっぷりと注ぎ込むからしっかりと受け止めるんだ
あっ！
それがお前の役目：なのだからな
がんばらなきゃ いたくても がまんしなきゃ
わたし… おねえちゃんだから… ひすいちゃんのこと まもらなきゃ…！

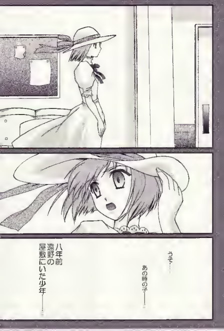

この体勢だと私の精を注ぎやすいな
こんなカッコ…くるしい…はずかしい…
!ひぁっ ふぁぁぁっ!?
ふっ 気持ち良い所に当ったか?
むうっ
出るぞっ 受け止めるんだ 琥珀!
ひうっ…


ビクッ
ビクビクッ
うおっ…おおおーっ！
はあぁぁ〜〜っ!!!
流石に…
これだけ出せば
その幼い躰では
全ては受け切れず
溢れてしまうか…
まあ
これからは
これがお前の仕事だ
ドロ



生きるため
存在しつづける為に
わたしを壊す槙久さま
わたしも
生きるために壊すの
自分も
そして
自分を壊した
遠野の人間も
午後一
こりゃあ
酷い
槙久のやつか?
それが
わたしの
生きる糧
時南医院
いえ
四季さまが
あの小僧か
なぁ
嬢ちゃん
もう少し身体を
大事にせんと
そのうち
子供も生めん
体に……
はぁ


冗談では無いぞ？
好きな男でも出来た時に子供も欲しかろう？
……そう思うようにはならんかね？
ええ
だって誰もわたしの心には入れない
わたし自身でさえ心のありかが分からないのに
スッ


うそ……
あの時の子——…
八年前
遠野の
屋敷にいた少年——…




あぁ
どうして今になって
わたしにも分からない
心のありかを
開いては
ならない扉を――
いとも簡単に
開けてしまうんだろう――
あのひとは
幼いわたしは
受け入れる
なかった
わたしは
槙久さまの
生きるための
わたしは


生きる為に
この花を育てるしか
なかった——


わ
なに?
ねぇねぇ
志貴さん
あの時志貴さんは
気付かなかったのかな?
え?
ううん
なんでもない
植物にも
心ってあるんですよ
だって……


あの時のわたしではお日様のような花は育たなかったから…
こんなに沢山咲かせられたって事は幸せなのね
きっと
■END■




■さて、いかがだったでしょうか？
まあなんというか、時間が限られた状況での制作だったんで
大分割愛してあったりするのですが、表現したい空気が
上手く伝わるといいのですが。
まぁこんな感じに、切ない空気が描けたらなぁ、なんて
思ってます。
入れたい設定入んなかったし……。あわわ。
久我崎さんもやりたいネタがあるみたいで、ノリ良く行ければ
また続き？を描くかもしれません。

■ちょこっとインフォメーションです。
年末、プリンセスソフトさんから発売予定のPS2用ゲームソフト
「SAKURA～雪月華～」にて、キャラクターデザインと原画を
女の子3キャラと男の子（オッサン）3キャラ
担当させていただきました。
GGマガジン等で、情報が順次出ると思いますので
見ていって頂けたらなーと思います。頑張ります～

鷹瀬ひろふみ拝



Ren-Ai MangaKa/ Presents.
TUKIHIME Hisui & Kohaku FAN BOOK.